





鳥獣災害防止七策



監修：農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー

七 策	対策活動のポイント	主な対策活動内容	実証普及資材・器具・施設
1. 皆で ☆住民主体の生活環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 住民の情報共有と危機醸成 里人活動としての合意形成 生活環境整備として住民総参加型で計画的実践 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害、侵入経路 柵設置、道路用排水路の法面・遊休農地等の除草管理の状況を航空写真地図に前線マップ化し情報共有 鳥獣災害防止七策活動の計画的な実践 	<ul style="list-style-type: none"> 集会所掲示用のボード 鳥獣前線マップ = 幸柵くん 雑草前線マップ = 幸作くん   
2. 囲って ☆鳥獣侵入防止柵の設置	<ul style="list-style-type: none"> 侵入は山、川、道路からで柵は完全ブロック、周年設置型 簡易門扉と目隠しネットの設置 	<ul style="list-style-type: none"> 完全ブロック柵の周年設置 柵の補強対策として目隠しネットの設置 簡易・低コスト門扉、景観配慮柵の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 周年、簡易設置、景観配慮、目隠しネット、簡易平衡門扉耐雪型 = 猪鹿鳥無猿柵  
3. 除いて ☆鳥獣の定住化を阻止	<ul style="list-style-type: none"> 獣の餌場、潜み場の解消のため、遊休・耕作放棄地、河川敷き等の草原化防止 防草シートで除草地の減少化 	<ul style="list-style-type: none"> 水田畦畔、用排水路・道路法面・遊休農地に防草シート設置芝 果樹・草地・竹林・遊休地等に周年柵の設置 防草シート活用した桜ロードの造成 	<ul style="list-style-type: none"> 防草シート = 幸作シート 雑草抑制ネット = 幸作ネット 農道・用排水路法面に防草シートマルチで芝桜植栽 = 芝桜ロード  
4. 追い切って ☆鳥獣の人馴れを防止	<ul style="list-style-type: none"> 人馴れ防止で有害鳥獣の追い払い、追い切りを集団実践 専用ユニフォームや退散鳥獣パチンコ等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 追い払い・追い切り隊 = 猪鹿鳥無猿隊の結成 ロケット花火、パチンコ等を携帯し、ユニフォーム着用による安全パトロール活動 	<ul style="list-style-type: none"> 追い払い効果向上 = 絆ベスト・絆ポロシャツ 花火発射器具 = 退散鳥獣 車用絆ステッカー    
5. 捕って ☆有害鳥獣捕獲の推進	<ul style="list-style-type: none"> 猟友会員、実施隊と連携協力 猟師の育成確保(ワナ免許取得) 捕獲個体のジビエ活用による域活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 猟友会、実施隊、捕獲従事者の育成確保のために狩猟免許(ワナ、銃猟)の取得促進 集落と捕獲者による捕獲活動体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> 猿捕獲用囲いワナ = 失楽猿 落ち網鹿捕獲ワナ = 鹿とりくん ガイド式くり罠 = 獣道御用 電気止めさし器 = 如意棒   
6. 食べて ☆地域の商工・観光資源化	<ul style="list-style-type: none"> 合法的な獣肉処理加工施設(ジビエ拠点施設)の設置 各種イベント、施設の販売促進 	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生法、ジビエガイドライン適合解体処理施設の設置、 猟友会、商工会、観光協会地域づくり団体等と連携した地域資源化推進 	<ul style="list-style-type: none"> 食肉処理業・販売業の許可取得施設 = 和良地美恵工房  
7. 里人で ☆集落・自治会リーダーの育成確保	<ul style="list-style-type: none"> 集落の安全、安心な生活環境を整備保全する活動組織の明確化と役割分担・草と鳥獣対策は生活環境整備活動 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、集落協定(中山間地域等直接支払)地域資源保全組合(多面的機能支払)の計画的実践活動、及び現地視察研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 集会所掲示用のマップボード 鳥獣前線マップ = 幸柵くん 雑草前線マップ = 幸作くん 現地視察研修施設 = 宮地退散鳥獣・草園  

【創意工夫のポイント】

- 特徴
集落少子・高齢化、農業の担い手不足、鳥獣被害の増加により農地が荒廃。併せて住民の拠所で誇りある神社祭礼文化の継承が困難になり、集落への愛着と絆が失われることへの危機感から、地域資源を活用した「集楽づくり」活動を平成9年度から開始。
- 取組
【鳥獣被害防止対策】= 獣との戦い
・鳥獣防止対策として「猪鹿鳥無猿柵」等の開発・設置
・鳥獣害、耕作放棄地対策の視察研修対応の展示体験施設「退散鳥獣・草園」の設置
・追払活動等資材器具の「絆ベスト」「ポロシャツ」「退散鳥獣(銃)」等の開発普及 ……等
・鳥獣災害防止七策・「1. 皆で、2. 囲って、3. 捕って 4. 追い払って、5. 捕って、6. 食べて、7. 里人で」
【耕作放棄地対策・担い手対策】= 草との戦い
・畔管理省力化のために、雑草抑制ネット、防草シートをメーカーと共同で開発。
・住民総参加で、ネット、シートを敷設し、畦畔・法面管理を省力化……等
【集楽づくり活動】
・「ふれあい農園」(農業体験交流)=H7～
・「和良漬物まつり」=H9～
・地域笑品の開発販売(絵馬、祈願米、鹿の角掛け等)

【取組地域の概要】

○位置 (位置図) 岐阜県
岐阜県郡上市
標高378mの山間地域に位置する
水田面積約20haの農業集落
総戸数56戸、総人口148人(H27末)

(地域指定)
特定農山村地域、
山村振興地域、
過疎地域

○主要作物
・ 水稻 ・ 飛騨牛 ・ 野菜

○日本一「和良鮎」の獲れる集落
鬼谷川・鹿倉川・和良川の合流集落

取組の成果

地域ぐるみの鳥獣害対策

猪鹿鳥無猿柵

猪鹿鳥無猿隊

退散鳥獣(銃)・絆ベストで追い払い

○猪鹿鳥無猿柵の開発・設置
・周年設置・低コスト・自力施工
・軽量資材・景観配慮
・簡易門扉・各種鳥獣対応
・侵入防止・省力維持管理

○追い払い活動で被害を削減
○宮地退散鳥獣工房設立
○ロケット花火発射器具を改良した退散鳥獣(銃)開発、製造

○猟師が使うオレンジ色の絆ベストの着用
○集落捕獲装置の開発実証普及
「鹿とりくん」= 鹿捕獲落とし網、「失楽猿・猿の落園」= 猿の大型囲いワナ

【柵設置延長】	H24: 5.0km	→H27: 6.3km
【被害額】	H24: 8万円(1,319万円)	→H27: 2.6万円(313万円)

※ ()内金額は和良町全体での被害額

雑草対策と担い手への農地集積

○水田の除草、畔塗り作業を省力化したい
○雑草抑制ネット、防草シートをメーカーに開発依頼
○住民総出で雑草抑制ネット(幸作ネット)、防草シート(幸作シート)を水田、農道、用排水路法面に設置
○除草作業を3割以上削減(法面の除草不要)
○大規模畜産農家1戸と大規模稲作農家3戸1農業生産法人が担い手として農地の70%以上を集約
○集落内に耕作放棄地無し

住民の防草シートの設置

畦畔草刈り不要水田

☆「平成の里普請」の総集會

住民総参加での「集楽づくり」活動

※芝桜ロード、水田ビオトープ、イラスト田んぼ等の設置・管理 (H19～)
 ※老朽化した水路、農道の改修や防草シート、雑草抑制ネットの設置作業
 ※地域資源の発掘・紹介 (H9～)
 ・ パワースポット「神の居ます風景遺産」の整備(看板設置、マップ作成、絵馬、祈願米の開発販売)
 ・ 一本杉ライトアップ⇒ど真ん中ライトアップ事業(大鳥居、重ね岩等の社叢のライトアップに発展)

○住む楽しさ、心地良さの増 ⇒ 併せて来訪者も増加

一本杉ライトアップ

取組を後押しした主な支援施策の内容

○山村振興等農林漁業特別対策事業等(H9～H12) イラスト田んぼ
 ・農林水産物処理加工施設180㎡
 ・道の駅(農産物直売所・多目的交流広場)
 ・歴史資料館(文化伝承室)

○中山間地域等直接支払交付金 (H12～)

○多面的機能支払交付金 (H19～)

○鳥獣被害防止総合支援事業(H23) 柵の設置作業

一本杉
芝桜ロード

成功のポイント(自立までのプロセス)

少子・高齢・過疎化 → 鳥獣被害の増加 → 3つの危機
 文化継承の危機
 農地荒廃の危機
 集落への愛着喪失の危機

主な受賞歴

- H22 鳥獣被害対策優良活動表彰 ☆農林水産省 生産局長賞
- H26 豊かなむらづくり全国表彰 ☆農林水産大臣賞
- H26 農林水産祭むらづくり部門 ☆日本農林漁業振興会長賞
- H29 鳥獣被害対策優良活動表彰 ☆農林水産省 農村振興局長賞

平成 9年 地域資源を活かしたむらづくり活動を開始
 世代別親睦団体が住民総集會に諮り様々な活動を展開

平成12年 「中山間地域等直接支払」の集落協定を締結

平成19年 「農地・水保管理支払」による共同取組活動開始

平成22年 「集落総点検・夢ビジョン策定モデル事業」の実施
 ※集落の魅力再発見と更なる集落づくり意欲や住民の絆の醸成

平成25年 「退散鳥獣・草園」の設置
 (獣と草との闘いテーマパーク)

現在 県内外から視察研修を受入

○各種対策器具、資材、施設の全国普及
 ○視察研修等で、体験交流人口が増加
 ○集落及び移住者、交流者との絆を深め地域への移住、定住者の増加を図る。
 H24: 53戸 → H27: 56戸

○祭礼文化の伝承に多様な担い手を育成を図る。(集落⇒町内⇒交流者へと)

退散鳥獣・草園
視察体験研修風景